

信州健康ゼロエネ住宅の概要

令和6年7月23日

長野県 建設部 建築住宅課



本日の内容

- 信州健康ゼロエネ住宅指針（P2-P8）
- 信州健康ゼロエネ住宅のメリット（P9-P11）
- 令和6年度信州健康ゼロエネ住宅助成金制度の概要（P12-P14）
- 住宅分野におけるゼロカーボン実現に向けたロードマップ（P15）
- 信州健康ゼロエネ住宅の普及促進に向けて（P16）

■ 信州健康ゼロエネ住宅の概要

信州健康ゼロエネ住宅は、高い断熱性能を有し、信州の恵まれた自然環境と森林資源を活かし、エネルギー使用量を実質ゼロにするなど、これからの時代を真剣に考えた、人と環境にやさしい魅力的な木造住宅です。

信州健康ゼロエネ住宅のイメージ

再生可能エネルギーの活用

- ・ 太陽光の発電、給湯利用
- ・ 木質バイオマスの暖房、給湯利用
- ・ エネルギーの自給自足

日射や風のコントロール

- ・ 計算された庇
- ・ 日射熱の蓄熱の工夫
- ・ 高低差等を利用した通風

高い断熱性能

- ・ 高い断熱性能を有する外皮
- ・ 樹脂や木の断熱サッシ、トリプルガラスの採用

高効率給湯設備

- ・ ヒートポンプ式給湯器
- ・ 潜熱回収型給湯器 等

高効率機器等

- ・ HEMSでエネルギーを
見える化
- ・ LED照明
- ・ 高効率家電

伝統技能の活用

- ・ 左官壁、瓦、建具、畳

外構・景観

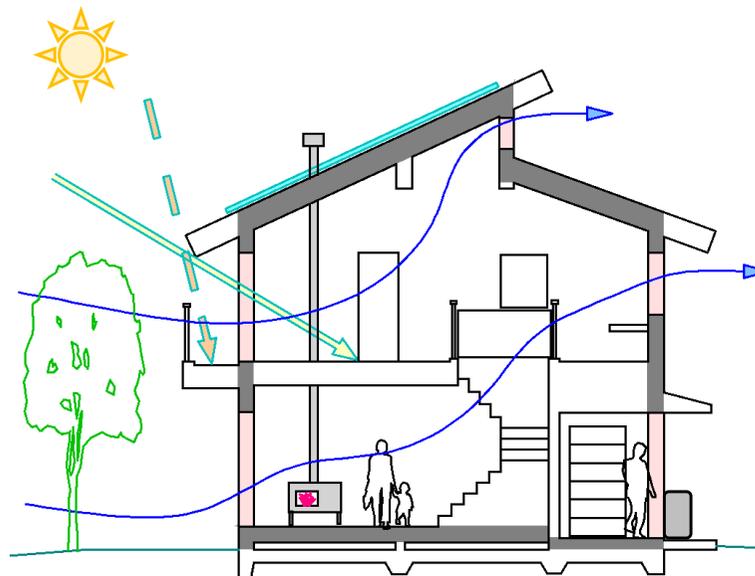
- ・ 南側の落葉樹の植栽等
- ・ 生態環境の保全と再生
- ・ 街並みや景観との調和

災害に対する強靭性

- ・ ハザードエリアの回避
- ・ 蓄電池の設置
- ・ 高い耐震性能

その他

- ・ 更新の容易性
- ・ メンテナンス記録の
保存 等



森林資源の利用

- ・ 県産材の利用
- ・ 木質バイオマスの利用

健康の増進

- ・ 健康寿命を延伸
- ・ バリアフリー

循環

- ・ 雨水利用
- ・ 資源の循環利用
- ・ 地域の経済循環



優れた断熱性能

四季を通して快適で健康的な住まい



恵まれた森林資源の活用

木の温もりの住まい
木質バイオマス設備の活用



恵まれた自然との共生

五感で感じる
住み心地の良い住まい



恵まれた日照の活用

エネルギー自給で
家計にやさしい住まい

《基準》 指針P43

- (1) 外皮性能（外皮平均熱貫流率（ U_A ））の強化
- (2) 一次エネルギー消費量の削減
- (3) 県産木材の利用
- (4) 太陽光発電設備又は木質バイオマスを利用した暖房設備の設置
- (5) 住宅の強靱化（レジリエンス性の確保）

- (6) 景観・周辺環境との調和
- (7) 太陽熱利用設備の設置
- (8) 伝統技能の活用
- (9) 気密性能（ cm^2/m^2 ）の確保
- (10) HEMSの導入
- (11) 暖房負荷（ kWh/m^2 ）の低減

基本項目
(必ず備えるべき基準)



配慮項目
(確保が望ましい内容)

基本項目は項目ごとに求める性能に応じて**3つの基準**を設定

- | | |
|--------------------------|---------------|
| ① ゼロエネルギー達成に向けて最低限確保すべき | 「最低基準」 |
| ② 環境負荷の低減と快適性を高次元で達成する | 「推奨基準」 |
| ③ 環境負荷を極限まで抑えるチャレンジ基準として | 「先導基準」 |

《基準》 指針P44

(1) 外皮性能（外皮平均熱貫流率（ U_A ））の強化【基本項目】

建築物省エネ法に基づく地域区分ごと、下表に掲げる数値以下とすること

基準	2地域	3地域	4地域	5地域	備考
最低基準	0.40	0.50			ZEH基準以上
推奨基準	0.28		0.34		HEAT20 G2
先導基準	0.20		0.23		HEAT20 G3

(2) 一次エネルギー消費量の削減【基本項目】

省エネ基準からそれぞれ下表のとおり削減すること

基準	削減量（対省エネ基準）
最低基準	20%以上
推奨基準	25%以上
先導基準	30%以上

《基準》 指針P46

(3) 県産木材の利用 **【基本項目】**

県産木材の使用量が、下表に掲げる数量以上であること

基準	木材使用量
最低基準	3 m³ 又は 仕上材 30 m²
推奨基準	0.12m³/m² (総使用量の60%程度)
先導基準	0.16m³/m² (総使用量の80%程度)

(4) 太陽光発電設備又は木質バイオマスを利用した暖房設備の設置

【基本項目】

下表のとおり導入すること

基準	内容
最低基準	太陽光発電設備等を導入 (太陽光発電設備にあつては3kW以上)
推奨基準	家電等を 除き 、ゼロエネ達成量の太陽光発電設備等を導入
先導基準	家電等を 含め 、ゼロエネ達成量の太陽光発電設備等を導入

《基準》 指針P47

(5) 住宅の強靱化（レジリエンス性の確保） **【基本項目】**

ア 耐震性能（在来軸組工法における取扱い）

基準	壁量等
最低基準	建築基準法施行令第46条に定める 壁量の1.25倍
推奨基準	建築基準法施行令第46条に定める 壁量の1.5倍
先導基準	

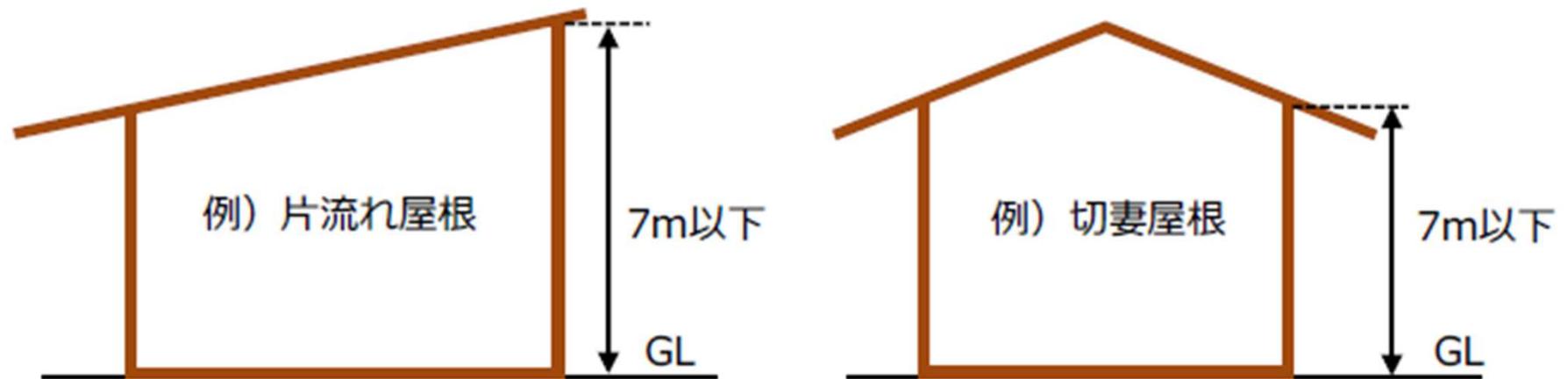
イ 災害リスクの低減

基準	内容
最低基準	災害危険区域 及び 土砂災害特別警戒区域 を回避
推奨基準	蓄電池 の設置（太陽光発電設備と連結したもの） 災害危険区域 及び 土砂災害特別警戒区域 を回避
先導基準	

《基準》 指針P47

(6) 景観・周辺環境との調和 【配慮項目】

外観における見かけ上の最高軒高を7m以下に抑えること



建築基準法と異なり、小屋組の有無に関わらず、見かけ上の最高軒高により判断する

《基準》指針P48

(7) 太陽熱利用設備の設置【配慮項目】

太陽熱利用温水器、太陽熱利用暖房設備を設置すること

(8) 伝統技能の活用【配慮項目】

瓦、左官壁、畳や建具などを積極的に導入すること

(9) 気密性能 (cm^2/m^2) の確保【配慮項目】

$1.0\text{cm}^2/\text{m}^2$ 以下とし、通気層を設ける等の結露の防止対策をすること

(10) HEMSの導入【配慮項目】

新築時に導入すること

➤HEMS Home Energy Management Systemの略

電力使用量の見える化により節電につなげたり、再生可能エネルギーや蓄電池などの機器の制御を行い効率的なエネルギーの管理・制御を行うためのシステム（指針P25）

(11) 暖房負荷 (kWh/m^2) の低減【配慮項目】

冬期の日射取得を考慮した暖房に係る負荷等計算を検討すること

■ 信州健康ゼロエネ住宅のメリット その1



長野県PRキャラクター「アルクマ」
©長野県アルクマ

メリットその1

エネルギーをあまり使わず **光熱費が安い!**



■ 光熱費の節減 (最低基準でも、年間暖冷房費が約13万円もお得!)

断熱性能の向上、適切な気密施工等により、暖冷房にエネルギーをあまり使わないので**光熱費が安く**なります。

また、高断熱化等により建築費用(初期費用)は高くなりますが、長く住み続けることを考えると、**光熱費の削減分で回収**でき、**トータルでも安く**なります。

断熱レベル	年間暖冷房費※
概ね 築30年 以上 (昭和55基準)	26.9万円
概ね 築20年 以上 (平成4基準)	24.8万円
県最低基準	13.5万円

年間
約13万円
もお得!!

※試算条件等は次項目と同様とし、光熱費のうち「年間暖冷房費」のみ抽出

■ 初期費用の回収 (最低基準+太陽光3kWの場合、約13年!)

断熱性能の向上等をした場合、建設費用(初期費用)は高くなりますが、全額借入金とした場合の住宅ローン(初期費用)に光熱費(ランニングコスト)を合わせて毎月の支払にならすと、試算※では、**信州健康ゼロエネ住宅**(最低基準 又は 最低基準+太陽光3kW)は、**省エネ基準の住宅よりも**月々の支払も安くなり「**お得**」になります。

	国省エネ基準	県最低基準	最低+太陽光3kW
住宅ローン (建設費用(初期費用))	73,000円/月 (2,310万円)	75,000円/月 (2,372万円)	78,000円/月 (2,455万円)
光熱費	35,800円/月	28,300円/月	21,200円/月
支出計	108,800円/月	103,300円/月	99,200円/月

■ 信州健康ゼロエネ住宅のメリット その2



メリットその2

断熱性能向上等により

健康で快適！

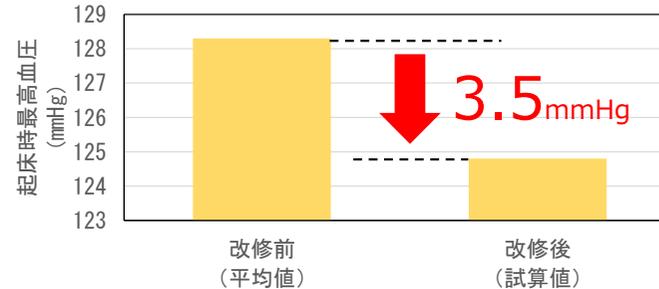


■ 血圧と室温

室内温度と居住者の健康には密接な関連性があることが、WHO（世界保健機関）の報告書や国の調査等で、明らかにされつつあります。例えば国の調査によれば、断熱リフォームによる室温の上昇で、リフォーム前に比べ居住者の起床時の最高血圧が有意※に低下するとの結果が示されています。 ※有意：「確率的に偶然とは考えにくく、意味があると考えられる」ことを指す統計用語

県基準	最低室温※
最低	概ね10℃を下回らない
推奨	概ね13℃を下回らない
先導	概ね15℃を下回らない

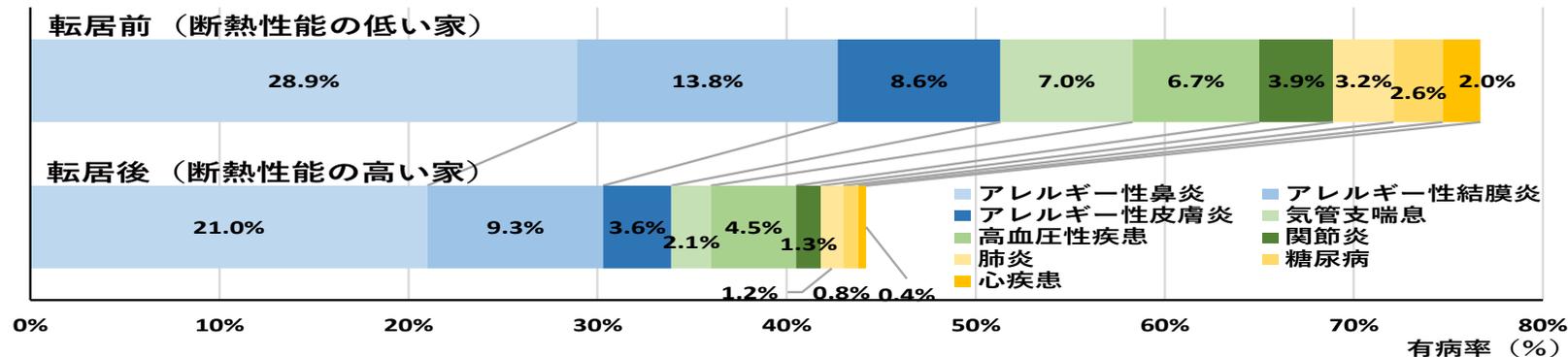
※暖房設定温度を20℃とし、23時に暖房を停止した場合の厳冬期における翌朝の室温



出典) 国土交通省資料 (「断熱改修等による居住者の健康への影響調査中間報告 (第3回))

■ アレルギーの抑制

断熱性能の高い家への転居後に、アレルギー性鼻炎などの各種症状の有病率が低下したアンケート調査結果が示されています。断熱性能の高い家では、結露によるカビやダニが 発生しにくいことも要因の1つとされています。



出典) 健康維持がもたらす間接的便益を考慮した住宅断熱の投資評価 日本建築学会環境系論文第76巻 第666号 p735-740 伊香賀ら

メリットその3

耐震性能向上等 災害にもしなやか！



■ 耐震性能の強化

信州健康ゼロエネ住宅は、国の基準（建築基準法）よりも**高い耐震性能**の基準を設定することで、災害に強く、丈夫で長く住み続けられる住宅を目指しています。



国の耐震基準
(建築基準法)



県最低基準
信州健康ゼロエネ住宅



県推奨・先導基準

信州健康ゼロエネ住宅は

大きな地震の時の安心・安全度が上昇

■ 災害時等への備え

太陽光発電設備と連結した据置型や電気自動車などの蓄電池の設置により、災害や停電時における、普段どおりの生活につながります。



メリットその4

自然やつながりを感じて豊かな暮らしを実現！



信州健康ゼロエネ住宅は、信州の自然に抱かれ、木の温もりを感じながら、地域とのつながりを育み、豊かな暮らしを実現します。



伝統技能の活用



県産木材の温もり



地域とのつながり



やわらかな自然光



風景との調和



火のある暮らし

令和6年度 信州健康ゼロエネ住宅助成金の概要【新築タイプ】

信州健康ゼロエネ住宅 賢くつかおう助成金

長野県では住宅分野における2050ゼロカーボン実現に向け信州健康ゼロエネ住宅指針^{※1}の基準に適合し県産木材^{※2}を活用した住宅を新築する場合に、**最大200万円**を助成します。断熱効果を高めることで、冬あたたかく夏涼しい快適な住まいとなるだけでなく、ヒートショックが予防され健康にやさしく、また光熱費が少ないエコな暮らしとなります。

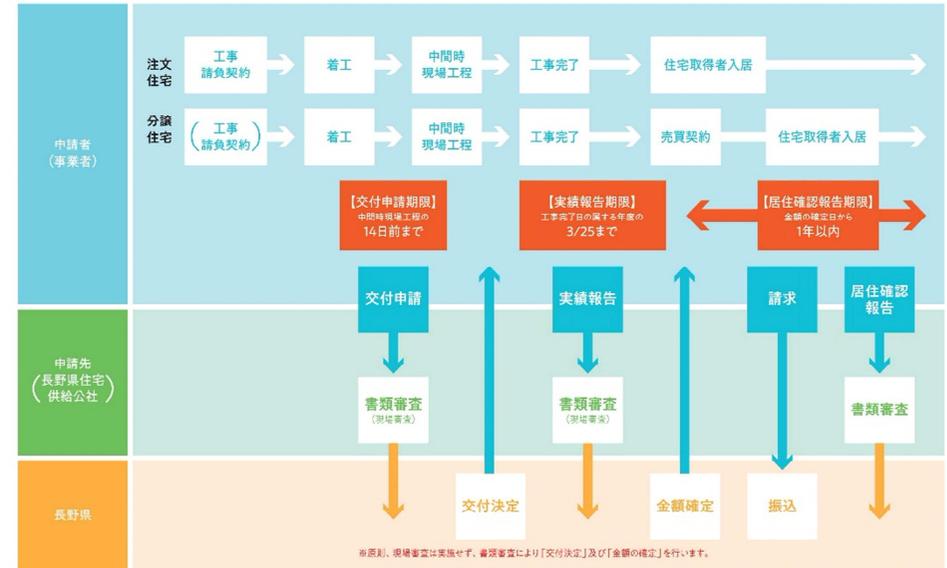


信州健康ゼロエネ住宅



しあわせ信州

申請手続きの流れ



注意事項
金額の確定日から1年以内に居住確認報告書の提出が必要です。助成対象住宅へ入居が確認できる書類を添付の上、早めに居住確認報告書の提出をお願いします。1年以内に居住確認報告がされない場合、助成金の返還となりますのでご注意ください。「子育てエコホーム支援事業」など、国が実施する事業や他の国庫補助事業等との併用はできません。

申請書類

申請書類の様式はホームページからダウンロードできます。また、添付書類の一覧も掲載しています。申請書類の提出は原則申請先へ郵送をお願いします。

信州健康ゼロエネ住宅

助成対象者

以下の①～③のいずれかに該当する県内に主たる事務所を置く事業者

- ① 住宅を新築する事業者で、住宅取得者と工事請負契約を締結する事業者(例:注文住宅を新築する工務店)
- ② 住宅を新築する事業者と工事請負契約及び住宅取得者と売買契約を締結する事業者(例:分譲住宅を供給する宅地建物取引業者)
- ③ 住宅を新築する事業者で、住宅取得者と売買契約を締結する事業者(例:分譲住宅を自ら新築する工務店兼宅地建物取引業者)

助成対象住宅

県内に新築する基本項目のすべてに適合する住宅

助成金額

区分毎の基本額に、選択項目に応じた金額を加算
ただし、地域条件等により基本項目9に適合しない場合は()内の助成金額となります。

区分	基本額	選択項目の最大加算額	助成金上限額
最低基準 ^{※3}	50万円(40万円)	60万円(40万円)	110万円(80万円)
推奨基準 ^{※4} (標準)	120万円(110万円)		180万円(150万円)
先導基準 ^{※5}	140万円(130万円)		200万円(170万円)

助成要件

基本項目	選択項目
1 一戸建ての木造住宅 ^{※6} (又は店舗等の床面積が1/2未満の店舗併用住宅)	①～⑧のいずれかの要件に該当する場合は、右欄に掲げる金額を加算(加算額の上限は60万円又は40万円)
2 住宅部分の床面積が75～280㎡	
3 県内に主たる事務所を置く者が施工	
4 一般向けの住宅見学会を実施 ^{※7}	
5 住宅部分が最低基準、推奨基準又は先導基準に適合	
6 県産木材を3㎡又は仕上材として30㎡以上使用	
耐震性能(以下の(ア)～(ウ)のいずれかを満たすもの)	
(ア)建築基準法施行令第46条に定める壁量の1.25倍	
(イ)住宅の品質確保の促進等に関する法律第3条第1項に基づく住宅性能表示基準の耐震等級(倒壊等防止)等級2以上の取得	
(ウ)長期優良住宅の普及の促進に関する法律第6条に基づく認定の取得	
7 住宅性能表示基準の耐震等級(倒壊等防止)等級2以上の取得	
8 災害危険区域 ^{※8} 及び土砂災害特別警戒区域 ^{※9} の範囲外	
再生可能エネルギー設備等を設置 ^{※10} (以下の(エ)又は(オ)のいずれかを満たすもの)	
9 (エ)太陽光発電システム(システム容量3kWh以上)	
(オ)木質ペレットストーブ又は薪ストーブ	

※1 信州の恵まれた自然環境と森林資源を生かした快適で健康な「信州健康ゼロエネ住宅」の普及を促進し、その選定手法等を提示するために策定したものです。

※2 信州木材認証製品として認証を受けた木材又は県内で産出されたことが証明できる木材が対象となります。

※3 ゼロエネルギー 達成に向けて最低確保すべき基準(外皮性能及び一次エネルギー消費量削減率▲20%(再生可能エネルギーを除く))

※4 環境負荷の低減と快適性を高次元で達成する基準(外皮性能及び一次エネルギー消費量削減率▲20%(再生可能エネルギーを除く))

※5 環境負荷を極限まで抑えるチャレンジ基準(外皮性能及び一次エネルギー消費量削減率▲20%(再生可能エネルギーを除く))

※6 混構造の場合は、非木造部分の床面積の合計が延べ面積の1/2未満の住宅に限る

※7 普及啓発を目的として見学会を実施していたほか、県ホームページにて事例紹介をさせていただきます。(個人が特定されない内容のみ。交付申請書をご確認ください)

※8 建築基準法第39条第1項の規定により指定された区域

※9 土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律第9条第1項の規定により指定された区域

※10 地域条件等により設置が難しい場合を除きます。

※11 太陽光発電設備による創エネルギーのほか、木質バイオマス暖房設備による暖房エネルギーの低減を考慮し、正味ゼロエネルギーを達成することをいいます。

◎ 詳細は「信州健康ゼロエネ住宅助成金交付要綱」、「信州健康ゼロエネ住宅助成金交付取扱要領」をご確認ください。

申請先 お問い合わせ先
今年度から申請先等が変わっています。ご不明な点等ありましたら、お気軽にお問い合わせください。

長野県住宅供給公社事業部事業計画課
〒380-0836 長野市大字南長野南県1003番地1
TEL.026-227-4322 FAX.026-227-4190
Mail njkkm@mx2.avis.ne.jp

信州健康ゼロエネ住宅助成金の詳しい情報はこちら

長野県建設部建築住宅課
〒380-8570 長野市大字南長野字楯692-2
TEL.026-235-7330 FAX.026-235-7479
Mail kenchiku@pref.nagano.lg.jp

お問合せ

令和6年度 信州健康ゼロエネ住宅助成金の概要【リフォームタイプ】

信州健康ゼロエネ住宅 賢くつかおう 助成金

長野県では住宅分野における2050ゼロカーボン実現に向け信州健康ゼロエネ住宅指針^{※1}の基準に適合させる性能向上リフォーム等をする場合に、**最大140万円**を助成します。断熱効果を高めることで冬あたたかく夏涼しい快適な住まいとなるだけでなく、ヒートショックが予防され健康にやさしく、また光熱費が少ないエコな暮らしとなります。



助成対象者

以下の①～③のいずれかに該当する県内に主たる事務所を置く事業者

- ① 住宅所有者と工事請負契約を締結する事業者(例:住宅のリフォーム工事を行う工務店)
- ② 県内に主たる事務所を置く事業者と工事請負契約及び住宅取得者と売買契約を締結する事業者(例:住宅の買取再販の際にZEH化リフォーム工事を行う宅地建物取引業者)
- ③ 自ら施工及び住宅取得者と売買契約を締結する事業者(例:住宅の買取再販の際にZEH化リフォーム工事を行う工務店兼宅地建物取引業者)

助成対象住宅

以下のいずれにも該当する住宅

- 県内に所在する住宅(住宅部分が1/2以上の店舗併用住宅を含む)
- 再生可能性エネルギー設備等の導入について検討を行ったもの

助成対象工事

県内事業者が施工する①又は②のいずれかのリフォーム工事が必須

①	ZEH化リフォーム	住宅部分を信州健康ゼロエネ住宅指針 ^{※1} の最低基準(外皮及び一次エネルギー消費量)以上に適合させる断熱改修等
②	健康省エネルギーリフォーム ^{※2} (A又はI)	浴室及び脱衣室又は寝室について 外気等に接する壁、床、天井又は屋根の見付面積10㎡以上の部分を断熱改修(改修部分の合計で可)かつ、外気等に接するすべての建具の断熱改修(既に断熱性能がある建具の改修は不要) 住宅部分全体の外気等に接する床、天井又は屋根の断熱改修

^{※1} 信州の恵まれた自然環境と森林資源を生かした快適で健康な「信州健康ゼロエネ住宅」の普及を促進し、その建築手法等を提示するために策定したものです。
^{※2} 住宅部分の外壁、窓等を通しての熱の損失の防止に関する誘導基準及び一次エネルギー消費量に関する誘導基準(令和4年11月7日国土交通省告示第1106号)とします。

助成金額

次の金額のうち最も小さい額(1,000円未満切捨て)
必須工事に併せて実施する下表の工事も助成対象とすることが可能

先導基準 140万円 (ZEH化リフォーム) 推奨基準 120万円 (ZEH化リフォーム) 最低基準 100万円 (ZEH化リフォーム) 50万円 (健康省エネルギーリフォーム)	or	総工事費の20%	or	工事内容に応じた 下表の助成単価の合計額
--	----	----------	----	-------------------------

区分	対象工事等	助成単価
断熱改修	外気等に接する壁、床、天井又は屋根の断熱改修	3,000円/㎡
	外気等に接する壁、床、天井又は屋根の断熱改修(ZEH化リフォームで先導基準又は推奨基準に適合)	4,000円/㎡
	外気等に接する建具の断熱改修	下記参照
バリアフリー	床の段差を解消(勾配1/12以下のスロープ設置)	2,000円/箇所
	出入口の幅を拡張(通行上有効な幅を750mm以上確保)	10,000円/箇所
	便器の取り替え(和式から洋式に)	50,000円/箇所
果産木材	便所又は浴室の面積を拡大 便所内法1,100×1,300mm または、洋式便器と前方側方の壁の距離500mm 浴室:知辺内法1,400mmかつ内法面積2.5㎡	50,000円/箇所
	仕上げ用板材または合板を使用	2,000円/㎡
再生可能エネ	仕上げ用板材または合板以外の材を使用	5,000円/㎡
	木質ペレットストーブ・薪ストーブ又は集熱面積4㎡以上の太陽熱利用給湯システムを導入	100,000円
伝統技能	左官仕上げ壁、国産瓦ぶき、県内業者製作の木製建具及び畳のうちいずれか2つを活用	100,000円

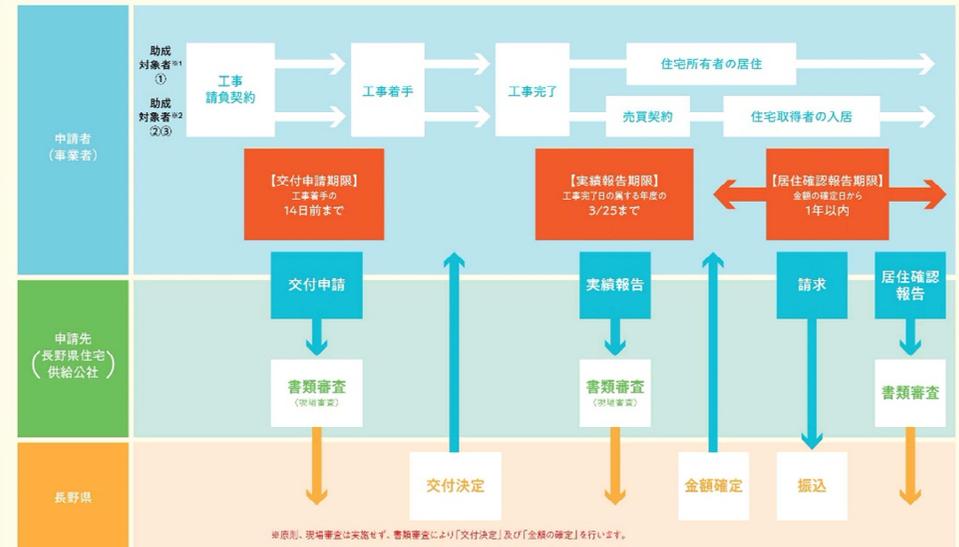
外気等に接する建具の断熱改修に係る助成単価

窓	建具の区分(面積)	1箇所当たりの助成額	ドア	建具の区分(面積)	1箇所当たりの助成額
	2.8㎡以上	31,000円		開戸:1.8㎡以上・引戸:3.0㎡以上	45,000円
1.6㎡以上2.8㎡未満	24,000円	開戸:1.0㎡以上1.8㎡未満	40,000円		
0.2㎡以上1.6㎡未満	20,000円	引戸:1.0㎡以上3.0㎡未満			

信州健康ゼロエネ住宅 リフォーム renovation

しあわせ 信州

申請手続きの流れ



注意事項

金額の確定日から1年以内に居住確認報告書の提出が必要です。助成対象住宅へ入居が確認できる書類を添付の上、早めに居住確認報告書の提出をお願いします。1年以内に居住確認報告がされない場合、助成金の返還となりますのでご注意ください。^{※1} 住宅所有者と工事請負契約を締結する者^{※2} 県内に主たる事務所を置く者と工事請負契約及び住宅取得者と売買契約を締結する者・自ら施工及び住宅取得者と売買契約を締結する者

申請書類

申請書類の様式はホームページからダウンロードできます。また、添付書類の一覧も掲載しています。申請書類の提出は原則申請先へ郵送でお願いします。

信州健康ゼロエネ住宅

申請先 お問い合わせ先

今年度から申請先等が変わっています。
ご不明な点等ありましたら、お気軽にお問い合わせください。

長野県住宅供給公社事業部事業計画課
〒380-0836 長野市大字南長野南町1003番地1
TEL.026-227-4322 FAX.026-227-4190
Mail njkkm@mx2.avis.ne.jp

信州健康ゼロエネ住宅助成金の
詳しい情報はこちら



長野県建設部建築住宅課

〒380-8570 長野市大字南長野字福下692-2
TEL.026-235-7339 FAX.026-235-7479
Mail kenchiku@pref.nagano.lg.jp



お問合せ

■ 信州健康ゼロエネ住宅助成金の申請状況・実績

令和6年度 (令和6年6月28日時点)

【新築】

- ・想定件数 255件 (現年分170件、債務分85件)
- ・実績件数 現年分: **111件**/170件 (**70%**)
< 最低基準:32件、**推奨基準:63件**、**先導基準:16件** >
- ・平均額 **約130万円/件**

【リフォーム】

- ・想定件数 127件 (現年分110件、債務分17件)
- ・実績件数 現年分: **27件**/110件 (**22%**)
< ZEH化リフォーム:3件、健康省エネリフォーム:24件 >

令和5年度 (令和6年5月20日時点)

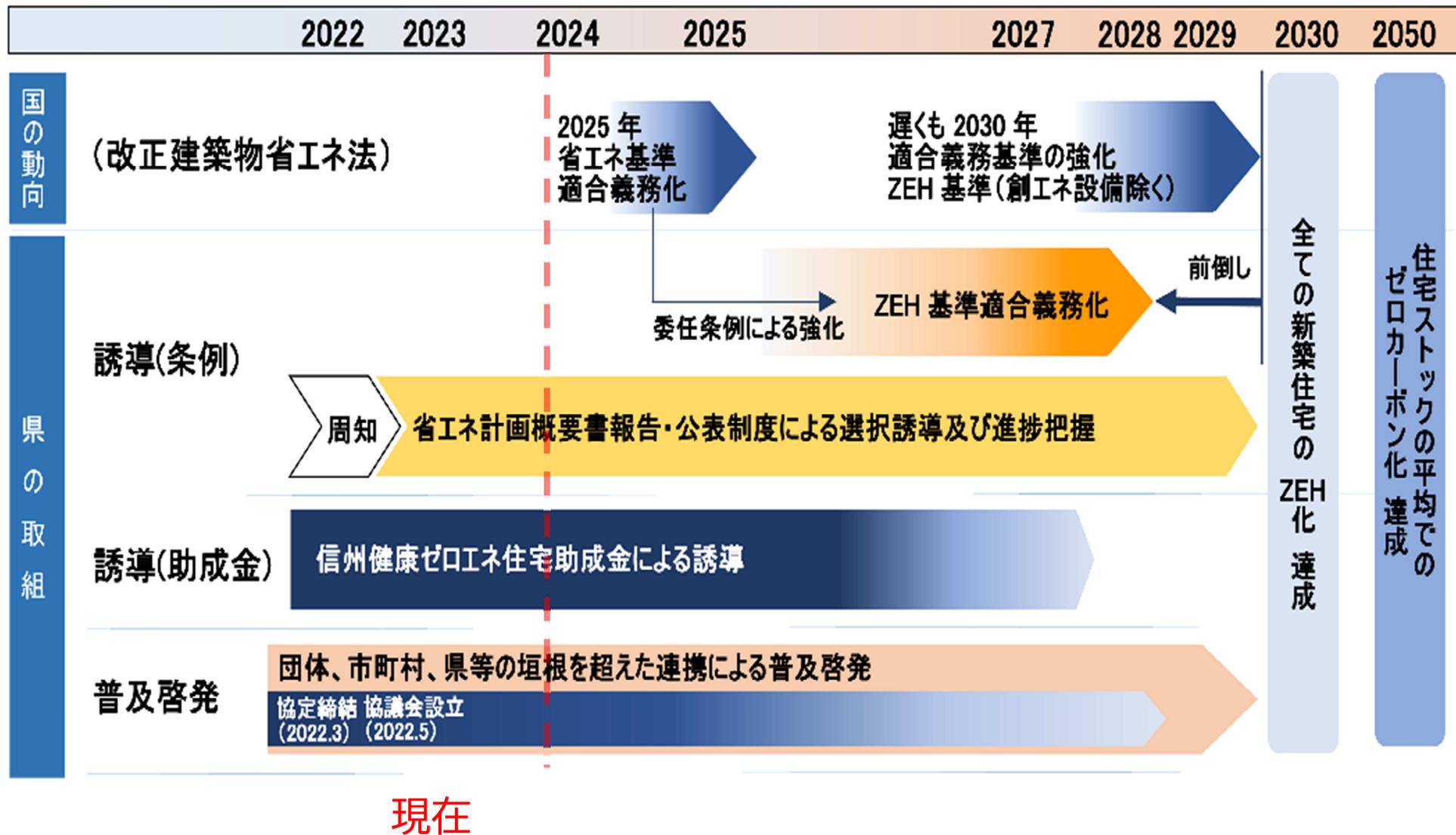
【新築】

- ・想定件数 255件 (現年分170件、債務分85件)
- ・実績件数 現年分: **174件**/170件 (**103%**)、債務分: **79件**/85件 (**93%**)
< 最低基準:95件、**推奨基準:137件**、**先導基準:21件** >
- ・平均額 約120万円/件

【リフォーム】

- ・想定件数 127件 (現年分110件、債務分17件)
- ・実績件数 現年分: **81件**/110件 (**74%**)、債務分: **11件**/17件 (**65%**)
< ZEH化リフォーム:10件、健康省エネリフォーム:82件 >

住宅分野におけるゼロカーボン実現に向けたロードマップ



■ 信州健康ゼロエネ住宅の普及促進に向けて

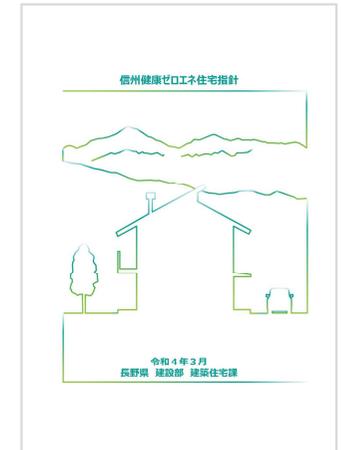
■ 信州健康ゼロエネ住宅ウェブサイトの概要

<https://www.shinshu0ene.jp>



- ・公開日 : 令和5年10月2日(月)
- ・主な機能 : 信州健康ゼロエネ住宅の概要
見学会・イベント情報・お知らせ
事例紹介
設計者・施工会社検索
支援制度
Q&A
協議会

- 《指針・手引書/メリット・効果/助成金》
- 《現場見学会・イベント等の情報掲載》
- 《施主・事業者/動画・静止画》
- 《新築/リフォーム/地域別》
- 《信州健康ゼロエネ助成金/国/県/市町村》
- 《よくあるQ&A 等》
- 《会員構成/活動内容》



信州健康 エネ住宅

信州健康ゼロエネ住宅とは 事例紹介 設計者・施工会社検索 支援制度 Q&A 協議会

文字の大きさ 背景色 Google 提供



<https://www.shinshu0ene.jp/example/1172.html>